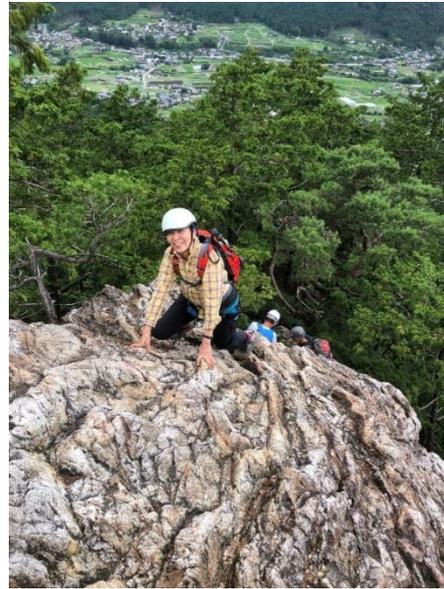


7月12日

ワイケン(金比羅山)

若林憲治

山名	ワイケン(金比羅山)	山行名	個人山行				
ルート	江文神社⇒ワイケン取付き⇒頭⇒ワイケン取付き⇒江文神社						
山行日	2020年 7月 12日	天候	曇り				
参加者	CL 若林 SL 小川 (参加者総勢 15名) (男性) 西川 森本 藤村 田中 中田 土岐 永井 木田 8名 (女性) 吉澤 上杉 倉光 大西 竹村 5名						
ルート概略図	コースタイム						
	地名	時:分	地名	時:分			
	江文神社	集	9:00		着		
		発			発		
	ワイケン取付き	着	9:15		着		
		発	12:25		発		
	頭	着	14:10		着		
		発	15:00		発		
	江文神社	着	16:00		着		
		発	16:30		発		
		着			着		
		発			発		
	<p>梅雨の最中前日迄は線状降水帯が近畿地区も居座り岩稜トレーニングを実施するか否かで参加者を悩ます事に成ったが、現地(三千院)へ電話にて現況確認 当日の天気予報等総合判断決行する事にした。終日曇り空の中本当に梅雨の合間では有ったが実施出来幸いであった</p> <p>3台のマイカーにて松井山手(ガスト)を7時過ぎに出発 9時00分過ぎワイ懸取付きに到着 訓練開始。今回の参加者で数名の方が岩稜トレーニングの長い期間ブランク者 未体験者で構成の為2班に分けて12時前まで取付きにて訓練を実施 フリクションノットマスター後ワイ懸頭へ向い14時過ぎ到着後頭では有志のみ(7名)懸垂下降の訓練を15時過ぎまで実施 下山は岩稜の危険を避けて沢道にて16時00分 江文神社に到着。</p> <p>ヒヤリハットは発生無しも、頭にて奈良の登山グループが懸垂下降を実施中 我々と懸垂下降への取り組む姿勢の違いを感じた次第。岩稜登山特に懸垂下降は危険と表裏一体であり 真剣度 慎重感 緊張感 集中度等高める様に今後の訓練の場に生かしていきたい。</p>						
	ヒヤリハット なし						



感想文

藤村敏幸

長くそして激しい梅雨のほんのひと時の晴れの日、久しぶり岩山に行き、ロープを張り少し緊張して岩壁を登り降りして岩登りの醍醐味を味わいました。頂上からみた大原の里は緑にあふれていました。今回の山行を企画・準備そして率先して指導された若林さん、小川さん素晴らしい体験を与えていただき有難うございました。気分がスカッとしました。

中田繁男

1年ぶりに参加しました。梅雨の晴れ間の江文神社は全体が湿った感じに、岩場の様子が気になりました。今回の参加者の中には昨年の登山教室のメンバー2名が加わっています。Yケンの楽しさ厳しさを伝えていたので、今回の新人の参加者4名の動向が気になっていました。Yケンのフォローをしようと岩場の木陰で、いきなりヤマビルに指先に取りつかれ慌てました。岩場の取り付きからブルージックのテンションを使った登り降りのトレーニングが始まりました。私も注意を受けた自己ビレイの準備をした。意外と登りはスムーズに進んでいましたが、流石にテンションの移動が難しそうです。岩場は上部ほど渴いていて登り安く助かります。

途中から奈良県労山連盟の若い参加者が登り始め、初心者が多く苦戦して危ない所に注意助言。我々も後から登攀開始することになり、最初の岩場の登りから苦戦する人が増え始め途中から小川さんのロープで安全確保して、頭の岩場に到着。既に先に着いた他のメンバーが盛んに懸垂下降のトレーニング中でした。暫くして一部空けて頂いたところから我々のトレーニングを開始する事になった。SLから今回の新人は見学のみと言う事で、最初は私からATCを使いデモンストレーションです。久しぶりでしたが体力が落ちていて力が抜けたせいか、体重がATCに上手くテンションが架かり比較的スムーズに下降できた。やっぱり何度も経験しておくものですね……

木田修司

本山行は、会員になって初めて参加しました。岩稜はこれまでに何度か歩いているのですが、ロープを使った登攀はしたことがなく全く初めての体験でした。

CL, SLをはじめ皆さんから丁寧な指導をしていただき、初めての懸垂下降も体験することができて、充実した一日を過ごすことができました。

また、山行までの調整や初心者用の資料の配布などをしていただき大変感謝しています。

今後は、皆さんの足手まといにならないように気をつけながら参加したいと思っていますので、よろしく願いいたします。

大西良子

7/12、朝から曇り空の中予定通り岩稜トレに出発。江文神社に到着、それぞれトレーニングに必要な装備をつけ最初の練習場所に、岩の登り方ロープの扱い方等説明してもらい、順番に訓練開始となりました。岩の上で固定されたロープをハーネスに付けたカラビナに通し三点確保しながら上り始めました。

雨が浸み込んだ岩、滑るケ所も多くなかなか三点を確保するのに苦労しました。

特に下りは足を置く場所が見つからず、先輩達のアドバイスに助けてもらいやっと確保。繰り返し練習していくことで怖さも薄れ何とか自分で三点確保する余裕が持てる様になりました。いよいよワイケン頭へ、リュックを背負いきつところはロープ固定をもらい練習した三点確保で何とか無事到着。

下山は金比羅山の下山ルートをあるきましたが、雨の浸み込んだ落ち葉や石、とても滑りやすく気の抜けない道でした。江文神社に着いた時はホッとひと安心しました。

初心者が恐怖心を持たないよう「安心安全」を基本に指導してもらったおかげで訓練を終えることができました。ご尽力いただいた皆様ありがとうございました。

上杉郁子

突出した岩に置いた足に体重を掛けた時ツルツと滑った。あーと思ったら目が覚めた。良かった。夢で。何故こんな夢を見たか。昨日久し振りに Y 懸で 岩稜トレーニングをしたからだ。足場を探し岩に手を掛ける。鋭角の岩が見つければ安心して次の作業に入る。その時の一瞬一瞬がドキドキし、私をワクワクさせてくれる。面白いし楽しい。日常の生活を忘れる。

しかしこの楽しさの裏には、大切な事があるのだ。重いロープを現場に運ぶ人トップにロープを固定する人 ビレーする人 e t c このような仕事をする人に感謝しなければならない。ビレーが出来ない者は岩をしてはいけない。と 聞いた事がある。

皆さんお世話に成り有難う御座いました。

永井繁一

Y 懸？ 金毘羅山?? 四国かいな？

こんなイメージしか浮かばない言葉でした。ましてや岩登りなんて恐ろしくて今までも、これからも無縁だと思っていたのですが、山登りを続ける上で岩場は避けられない事、又「何度も岩稜トレを繰り返す事で岩場の恐怖感も払拭されます」との案内で、少しでも岩登りの技術と知識を得たく、参加を申し込みました。前日までの天気は雨、当日は曇り予想ではありましたが、殆ど雨に遭わずに所定のトレーニングを受ける事ができました。

以降の文章は、ご教示受けた内容と言葉に対する理解不足により、意味不明な表現があるかと思いますが、文脈から推察下さい。

まず岩場に着くと簡易ハーネスの作り方、支点到固定したメインロープとハーネス（安全環付カラビナ）を繋ぐシュリングのロープワーク指導を受け、その後諸先輩による岩登りを見ながら、要点（三点確保・岩場の足置き・垂直姿勢とつま先立ち・ビレイの確実性）の説明を聞く。

さあ岩登り開始。とにかく上に進む事だけの動作を黙々とするが、途中で足の置き場やホールドする岩が見つからない状態に陥る。三点確保は意識していたが、無理な姿勢にならない程度の足置きや岩から体を離す姿勢などは全く意識できておらず、不安定でしんどい岩登りになりました。

ただ、適切な足置きや垂直姿勢が取れなかった結果、途中で岩場を俯瞰する余裕も無く、恐怖心が湧くこともありませんでした。よかった！

その後、Y 懸尾根（岩稜じゃない！）の頭目指して岩登り（の連続）。ビレイ有り無しを繰り返して登りきると、足は力が入らない感覚に。脚力で登った結果かな？

主だった参加者は頭で懸垂降下を行いました。気持ちがあっても踏ん張りが効かない足では・・・。当然二の足を踏みました。テレビなどの映像では見ましたが、目の当たりにすると“凄い”と思うばかりです。



今回の貴重な体験により、岩登りの基本やロープワークの重要性を自覚しました。またこれらは岩登りの為だけでなく、アクシデント時の対処にも有用であることを知りました。

最後に、企画・準備・実施・サポート・ご指導 頂いた皆様、

途中で現れた“大原の里”の眺望
ほっこりします



なんか？不安定
(Tさん撮影)



目上ばた岩場
上から見た岩場